

小学校・第5学年・家庭科・題材名「かしこい消費者を目指して」 内容「C消費生活・環境」(1)ア(ア)(イ) , イ C(2)ア, イ①

題材のねらい

物や金銭の使い方と買物について、課題をもって、物や金銭の大切さについて理解し、買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の計画的な使い方、身近な物の選び方、買い方、情報の収集・整理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な物の選び方、買い方を工夫することができる。

生活の課題
発見

解決方法の
検討と計画

課題解決に向け
た実践活動

実践活動の
評価・改善

家庭・地域
での実践

ICT活用のポイント

- 商品を購入する際に大切だと思う点を学習支援ソフトを用いて意見を交流したり、商品を選ぶ際の決め手となった部分の考えを共有したりして、各自の思考の過程を視覚化しやすくする。
- 商品から様々な情報を得られるように、見本となる商品を様々な角度から撮影した画像を紹介し、オンラインショッピングのように画像を拡大縮小しながら、吟味できるようにする。

事例の概要

- 導入において、「母親からお使いを頼まれた」という各グループごとに条件の違う動画を提示し、生活の中にある問題を見だし、課題を設定する。
- 買物の場面では、実物を手に取ったり、ICT端末を活用したりして、商品を値段や分量・賞味期限・産地・品質など、児童が様々な観点で選ぶことができるようにする。商品を選んだ決め手となる部分をICT端末を使って写真に撮り、着目した「選ぶポイント」についてその理由をICT端末に記入する。その後、グループで友達と選んだ品物の写真を共有することで、選んだ観点やその根拠などについて学び合い、グループとしての考えをまとめる。学級全体でも情報を共有することで、目的によって選ぶ観点が変わること気付くようにする。

小学校・第5学年・家庭科・題材名「かしこい消費者を目指して」 内容「C消費生活・環境」(1)ア(ア)(イ) , イ C(2)ア, イ②

【導入時における教材の同時送信による閲覧，必要な情報の収集・整理】



【ICTを活用するメリット】

- ・グループごとに条件が違う「母親からお使いミッション」の動画を作成し，各グループごとに配信することで自分事として捉えられるようにし，課題の課題へとつなげる。
- ・クラウド上に買物のための商品の情報を保存しておくことで，児童が情報収集できる。



【ICT端末を使って情報の確認・自己の考えの記録】



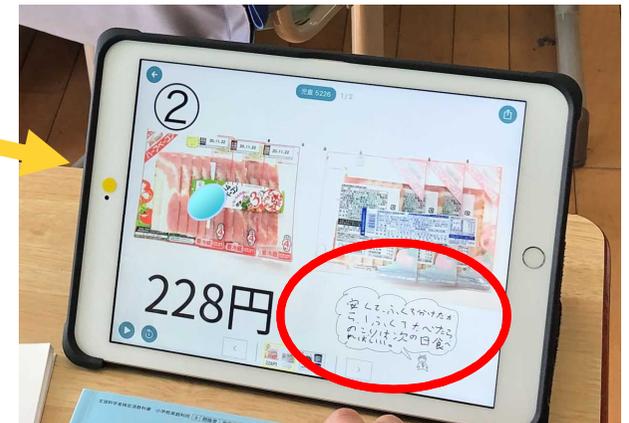
【ICTを活用するメリット】

- ・ICT端末での情報と実物を比較しながら，自分が着目した部分に印を付け，その理由をICT端末に記入・保存することで，グループでの交流や全体交流で生かすことができる。

【ICTを活用するメリット】

- ・保存した情報を各グループで共有することで友達の考えから学び，互いに認め合うことができる。
- ・グループのまとめの記述や画像を保存することで，全体で発表する際，画像を共有できるとともに，考えの根拠を明確にして発表することができる。また，全体で情報を共有することでより多くの友達の考えを知ることができる。

【各自の記録を基に，グループでの考察，まとめ】



【活用したソフトや機能】

写真・動画撮影機能，コメント機能，ファイル共有機能，学習支援ソフト